

令和 8 年度 学校経営方針



校章「雪華宝中」

1 校 訓
「 真美 創造 友愛 」

2 教 育 目 標 (24年度設定)
「 前向きに生きる 」

3 努 力 目 標 (めざす生徒像)
・心豊かに共に生きる生徒 (共生)
・夢に向かって学ぶ生徒 (自立)
・心と体を鍛える生徒 (貢献)

小学校が江陽の「陽」、中学校を「江」とし、「教育は水の如く自在にして、いのちの栄えを司る」ことから水の最も美しい姿を雪華の形に求め、雪紋で自然の恵みと偉大さを象徴。中央に宝槌をのせて若人の意志が願いに高められ、徳に通じ真の幸福への道が招かれることを示唆。
(図案作成 城井田章 氏)

4 学 校 目 標
『 今自分がなすべきことに、向き合い、挑み、粘れる 生徒の育成 』
学校スローガン『夢さがし絆づくり 一出会おう 新しい自分！』

〔重点施策〕

- (1) 生徒が主体性をもち、協働で課題解決に向かえる指導法の工夫と授業のユニバーサルデザイン化を進める。
- (2) 多面的な生徒理解に努め、生徒の「向上」と「変容」の両観点を認め、挑戦する意欲、粘り強く学ぶ意思を高める。
- (3) 対話を重ね、互いを尊重・受容する態度や互惠の気持ちで共に課題を超えていく意識を醸成する。
- (4) 保護者や地域の学校理解、信頼・期待に応えるための情報発信に取り組む。

5 めざす教師像

- (1) 常に生徒の心と体、「いのち」を最優先に考える教師
- (2) 子どもの特長を伸ばす使命感と情熱、柔軟な思考をもった教師
- (3) 同僚を尊重し、互いに学び、支え合える教師 (同僚性・協働性)
- (4) 学校運営への参画意識をもち、分掌・担当の枠にとらわれない教師
- (5) 保護者、地域への理解と関係を深め、共に子どもを育てる意識をもつ教師

6 経営方針と具体的実践項目

中学校3年間は、生徒が人格を形成し、社会的自立を実現するための土台づくりの時期である。地域社会の特色や生徒の実態並びに保護者・地域住民の願いを踏まえ、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな生徒を育成することが大切である。そのために、将来の社会人として、基盤となる確かな学力、互いを思いやり尊重し合える豊かな心、逞しく生き抜いていくための夢をもち、挑戦していける生徒を育成することが大切である。その実現のために、教員、生徒、保護者、地域で一体となって皆が安心して集い、高め合える愛着をもてる「私たちの学校」づくりを目指す。

- (1) 生活リズムの確立で「確かな学力」と「心身の健康」の基盤をつくる。
 - ① 節度ある起床・就寝時刻の重要性についての意識向上
 - ② 家庭学習の習慣化、やり方、工夫についての具体的指導
 - ③ メディアに触れる時間やルールを家庭で話し合える体制づくりと意義の啓発
 - ④ メディアへの依存度を低下し、自己管理できる意識づけ

- (2) 適切な目標設定、主体的で思考が深まる活動、意欲喚起で学力形成を図る。
- ① 学びに向かう意欲を喚起する知的な好奇心を発動させる授業の推進
 - ② 「わかった」「できた」「身についた」を実感できる学びがある学習活動の展開
 - ③ 授業のユニバーサルデザイン化の推進（7原則）
 - ④ 個に応じたきめ細かな指導（TT指導・少人数クラス編成・個別指導）の充実
 - ⑤ 授業アンケートを活用した授業改善及び校内研修の活性化
 - ⑥ ICT、1人1台端末の有効活用、学校図書館の整備と活用
- (3) 対話・交流を重視し、心を通わす教育活動の充実で「豊かな心」を育む。
- ① 道徳の時間を核とした道徳教育の推進
 - ② 体験活動の充実（総合的な学習の時間・学校行事・地域行事など）
 - ③ 一体感と感動を味わう行事、自治的な生徒会活動の推進
 - ④ 自律的コミュニケーション力の育成とピアサポート活動の充実
 - ⑤ 落ち着いた環境の整美（環境が人を育てる。教師が環境を作る。）
 - ⑥ 教育相談の充実（教育相談期間、部活動休止日の活用）
 - ⑦ スクールカウンセラー及び外部の関係機関との連携
- (4) 健康、運動、安全、防災について正しい知識の定着と技能・実践力を高める。
- ① 運動の楽しさや喜びを実感し体力の向上を図る授業・行事・部活動の充実
 - ② 疾病治療の向上と歯磨きの励行
 - ③ 正しい食習慣を身に付けさせる食育の充実
 - ④ 禁煙教育、薬物乱用防止教育、思春期教育の充実
 - ⑤ 情報モラル教育の推進
 - ⑥ 地域社会と連携し、実践的な防災教育の充実
- (5) 校内外の教育活動全体でキャリア教育の推進を図る。
- ① 豊かな心と社会性の育成と自分らしさを生かした生き方を追求
 - ② 自己有用感、自己有能感、自己肯定感の高揚
 - ③ 学ぶ意義、働く意義の理解と意欲の高揚を図り、望ましい勤労観・職業観の育成
 - ④ 各学年の柱となるテーマの下、系統性・連続性をもって推進する
自己理解（1年）自己啓発（2年）自己実現（3年）
 - ⑤ すべての教育活動を通して、キャリア教育の充実
 - ⑥ 小中9年間の体系的・系統的なキャリア教育の推進
- (6) 地域で育てる、地域を担う「地域密着型教育」の理解・意識の向上を図る。
- ① 学校・保護者・地域の願い・責任・学び・情報の共有
 - ② 学校・学年・学級通信、集会、面談、行事などを生かした情報発信
 - ③ 学校・保護者・地域の思いを反映し、協働による学校運営や教育活動の展開
 - ④ 系統性や一貫性を踏まえた小中一貫的な教育活動の実施